

児童数減少による学級編成の変化と教育環境ステージ

川西町教育委員会
平成 2 6 年 5 月

ステージ	学級編成	編成の内容	学級数	年度毎の各学校のステージ推移予測 () は 2 5 年度推移予測時							教育環境の変化	調理師	掃除への影響	通学への影響	配置教員数	他市町の学校が統廃合に入った事例	備考
				H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32							
0	1	単式学級Ⅰ	全学年2学級以上	12以上	小松							正3 嘱1					
	2	単式学級Ⅱ	学年1～2学級	6～11	大塚 犬川 中郡 吉島 (小松)	小松 大塚 犬川 中郡 吉島	小松 大塚 中郡 吉島	小松 大塚 中郡 吉島	小松 大塚 中郡 吉島	小松 大塚 中郡 吉島		正2 ～ 嘱1				・酒田市中平田小、東平田小、北平田小 (2013年平田小に統合)	
Ⅰ	1	複式学級Ⅰ	複式1学級と単式4学級 (2以上の学年の児童を1学級に編制)	5			犬川	犬川	犬川	犬川	犬川	正1 嘱1			校長、6(教頭、教諭)1 事務、1養教 1技	・鶴岡市湯田川小(2014年に朝陽四小に統合)	
	2	複式学級Ⅱ	複式2学級と単式2学級 (2以上の学年の児童を1学級に編制)の出現	4	高山 東沢 (玉庭)	高山 玉庭 (東沢)	玉庭	玉庭	玉庭 (犬川)	(犬川)		正1 嘱1			校長、4(教頭、教諭)、 1事務、1養教 1技	・鶴岡市田川小 (2014年に朝陽四小に統合) ・上山市東小、宮生小 (2013年宮川小に統合) ・尾花沢市高橋小 (2013年明德小と統合)	
Ⅱ	1	完全複式学級Ⅰ	複式3学級 (1・2年、3・4年、5・6年の3つの複式学級で編制)	3	玉庭	東沢	高山					正1 嘱1			校長、4(教頭、教諭)、 1養教 1技	・寒河江市田代小 (2013年白岩小へ統合) ・大江町三郷小 (2012左沢小へ統合)	
	2	完全複式学級Ⅱ	複式3学級 (複式3学級で、1学年が極めて少人数。例：1学年1名、又は男女1名ずつ等)	3			東沢	高山 東沢	高山	玉庭 高山	玉庭	正1 嘱1		△	校長、4(教頭、教諭)、 1養教 1技		
	3	完全複式学級Ⅲ	複式3学級 (複式3学級で、1学年が極めて少人数であり、かつ総児童数が20人以下)	3					東沢 (高山)	東沢 (高山)	高山 東沢	正1	△	△	校長、4(教頭、教諭)、 1養教 1技		
Ⅲ	1	変則複式学級Ⅰ	複式2学級 (低・中・高のいずれかの学年をまたいだり、欠学年や低と高などの編制による複式学級。例：1・3年、4・6年)	2								正1		△	校長、3(教頭、教諭)、 養教(兼) 1技	・南陽市小滝小 (2013年萩小に統合) ・大江町本郷西小 (2013本郷東小と統合) ・山辺町鳥海小(2012年大寺小へ統合)	
	2	変則複式学級Ⅱ	複式学級1学級 (欠学年が多数、例：3・5年)	1								正1		△	校長、2(教頭、教諭)、 養教(兼) 1技		
Ⅳ	1	児童数が1名	1学年1学級児童数1	1								正1		△	校長、2(教頭、教諭)、 養教(兼) 1技	・飯豊町中津川小 (2013手ノ子小へ統合)	

《検討のための視点》

- ①複式学級では、入学生がゼロの年があってもその後入学生がいる学年もあり、ステージを行き来する例もある。
- ②【通学への影響】児童数の減少により掃除への影響も懸念される。【通学への影響】集団登下校が不可能。少人数での通学で安全安心が保てるか。
- ③【調理師配置】完全給食の実施と調理師配置へ影響。【教員配置】教員配置基準により変化。